

平成25年度当初予算 施策 取組概要

**231 子どもの育ちを支える
家庭・地域づくり**

(主担当部局：健康福祉部)

23101	子ども条例の普及と推進	(健康福祉部)
23102	家庭力・地域力の向上支援	(健康福祉部)
23103	子どもの保護対策の推進	(健康福祉部)

県民の皆さんとめざす姿

子ども自身の持つ力を育み伸ばそうとする「子どもの育ちを支える視点」が社会全体で共有され、子どもを見守り、豊かに育てることのできる家庭・地域づくりが進んでいます。

平成27年度末での到達目標

「三重県子ども条例」の普及啓発、条例に基づく取組の推進などを通じて、大人が子どもの育ちや子育てについての理解を深めるとともに相互に連携し、子どもへの体験・交流機会の提供、有害環境からの保護などに自発的に取り組んでいます。

県民指標				
目標項目	23年度 現状値	24年度 目標値 実績値	25年度 目標値 実績値	27年度 目標値 実績値
「三重県子ども条例」の認知度	—	50.0%	65.0%	100%
	35.0%	—	—	—
目標項目の説明				
【目標項目】 「三重県子ども条例」を知っている県民の割合				

活動指標					
基本事業	目標項目	24年度 目標値	24年度 実績値	25年度 目標値	27年度 目標値
23101 子ども条例の普及と推進	キッズ・モニター活用事業数	8事業	—	9事業	10事業
23102 家庭力・地域力の向上支援	「みえ次世代育成応援ネットワーク」会員数(累計)	1,155 会員	—	1,270 会員	1,500 会員
23103 子どもの保護対策の推進	子どもの利用の多い店舗のうち青少年健全育成協力店の割合	92.5%	—	95.0%	100%

進捗状況（現状と課題）

- 「三重県子ども条例」に基づき、平成23年度の子どもの関する施策の実施状況をまとめた「三重県子ども施策に関する年次報告書」を作成しましたが、今後、施策への反映に努めていきます。

- ・ 保護者や地域の大人の、子どもに対する理解の浸透を図るため、平成 24 年 12 月 1 日に「みえの子ども白書フォーラム」を開催しました。また、子どもの思いをフォーラムで発表するため、事前にこども会議を開催（3 回）しました。
- ・ 施策を進めていく上での参考とするため、e-モニター制度を利用した「キッズ・モニター（375 人：平成 24 年 12 月末現在）」を活用して、子どもの意見の聴取や把握をしています（平成 24 年 12 月末現在：6 事業で実施）。今後、モニターの拡大と、モニター結果の活用を促進していく必要があります。
- ・ 子どもの悩みや不安に寄り添い、ともに問題の解決を図る子ども専用相談電話「こどもほっとダイヤル」を運営しています。これまでに 2,442 件（平成 24 年 12 月末現在）の相談が寄せられており、専門的な対応が必要な案件については、児童相談所等関係機関と連携して対応しています。今後も、悩みを抱える子どもに向けて、より一層の周知が必要です。
- ・ 子育て中の親の悩みの共有や連携を図るため「親なびワーク」を実施していますが、子育てに関して不安や負担を感じる人が増加していることから、児童虐待防止の観点も加え「親なびワーク」をリニューアルする必要があります。
- ・ 子育てサポート講座の開催（公開講座 1 回、出前講座 18 回）により、「みえの子育てサポーター」を養成（平成 24 年 12 月末現在 2,347 人（累計））していますが、さらに出前講座の積極的な開催を関係機関に働きかけていきます。また、サポーターの実践的な活動を促進する必要があります。
- ・ 家族が互いの理解を深め、絆を認識する機会として、「家族の絆 一行詩コンクール」を実施し、平成 23 年度を上回る応募（7,017 作品）をいただきました。「子育て応援！わくわくフェスタ」のなかで表彰式を行うなど、一行詩に込められた思いを皆で共有・共感し、子どもが豊かに育つ地域社会づくりに活用していきます。
- ・ 「みえ次世代育成応援ネットワーク」の会員の拡大を図る（1,112 会員：平成 24 年 12 月末現在）とともに、メールマガジン（みっふる通信）の発刊や会員総会の開催など、会員間の交流機会の拡充を図り、会員相互の連携強化に取り組んでいます。また、「みえ次世代育成応援ネットワーク」と連携して、平成 25 年 2 月に伊勢市で「子育て応援！わくわくフェスタ」を開催するなど、家族や地域の絆を深める取組を行っています。
- ・ 三重県青少年健全育成条例に基づく立入調査を、地域別・計画的に行うとともに、子どもの利用が多い店舗に「青少年健全育成協力店」として登録していただくよう積極的に働きかけており、引き続き立入調査や協力店への登録要請等継続的な活動が必要です。
- ・ 子どもの育ちにおける家族の絆の大切さが認識され、社会全体で子育て家庭を応援する地域社会づくりをめざし、三重県商工会議所連合会総会や市町等で開催される各種会議で「家庭の日」の周知・啓発をするとともに、企業における取組状況を調査しています。引き続き、企業や県民の皆さんに幅広く周知する必要があります。

平成 25 年度の取組方向

健康福祉部

- ・ 「三重県子ども条例」がめざす子どもの権利が尊重される社会の実現に向けて、子どもが意見を表明し参加する機会としてこども会議を開催するなど、条例について理解を深め、周知・啓発していく取組を推進します。
- ・ 「キッズ・モニター」により、子どもが意見表明できる機会の設定・提供を行うとともに、制度の活用を進めます。

- ・ 「こどもほっとダイヤル」の周知・広報に努め、悩みを抱える子どもに向き合い、より良い支援が行われるよう関係機関との連携を強化して対応していきます。
- ・ ワークショップ形式の「親なびワーク」を児童虐待未然防止の観点もふまえて、乳幼児を持つ親を重点的な対象としてリニューアルし、市町や関係機関と連携して取り組んでいきます。
- ・ 「みえの子育ちサポーター」を養成していくとともに、市町や関係機関と連携して、地域での活動を促進していきます。
- ・ 「家族の絆 一行詩コンクール」について、これまでの作品を活用して、コンクールの効果的な周知・啓発をしていきます。
- ・ 地域の企業や団体に、子どもの育ちと子育て支援に関する取組の輪が一層広がっていくよう「みえ次世代育成応援ネットワーク」と連携して家族の絆が深まるようなフェスティバルを開催するとともに、さらなるネットワーク会員の拡大を図っていきます。また、地域での自主的な活動が進むよう、会員の取組情報の共有や会員間の交流の場づくりを行います。
- ・ 「青少年健全育成協力店」への登録について、三重県青少年健全育成条例に基づく立入対象店舗のうち、子どもの利用の多い店舗を重点的な対象として働きかけていきます。
- ・ 「家庭の日」協力事業所として登録いただいた企業に対し感謝状を贈呈するとともに、県ホームページ等で県内企業の取組を紹介するなど、「家庭の日」について広くPRしていきます。

主な事業

健康福祉部

●（一部新）子ども施策総合推進調整事業【基本事業名：23101 子ども条例の普及と推進】

（第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費）

当初予算額：(24) 952千円 → (25) 2,206千円

事業概要：子ども条例の基本理念を実現するため、子どもの権利について学ぶ機会の提供や子ども会議の開催などの取組を、新たに団体・企業からの提案を受けて実施します。また、「キッズ・モニター」制度を活用し、子どもの視点を県政に生かします。

●子ども専用電話相談事業【基本事業名：23101 子ども条例の普及と推進】

（第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費）

当初予算額：(24) 15,860千円 → (25) 11,868千円

事業概要：子どもの悩みや不安に寄り添い、ともに問題の解決を図るとともに、関係機関と連携して子どもを支えるため、子ども条例に基づき設置した子ども専用相談電話「こどもほっとダイヤル」を運営します。

●（一部新）家庭の養育力向上事業【基本事業名：23102 家庭力・地域力の向上支援】

（第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費）

当初予算額：(24) 5,183千円 → (25) 4,591千円

事業概要：子育ての不安感や負担感の軽減を図るため、ワークショップ形式の「親なびワーク」を、乳幼児を持つ親を重点的な対象に、児童虐待未然防止の観点もふまえてリニューアルします。

また、地域で子どもの育ちを見守り支える取組が進むよう「みえの子育ちサポーター」を養成するとともに、家族をはじめ大人と子どもがお互いを思いやるきっかけを提供する一行詩コンクールを行います。

●家族の絆強化事業【基本事業名：23102 家庭力・地域力の向上支援】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

当初予算額：(24) 17,000千円 → (25) 9,946千円

事業概要：多くの大人が子どもの育ちを支えていけるよう、「みえ次世代育成応援ネットワーク」の会員の拡大を図るとともに、地域での自主的な活動が進むよう、会員の取組情報の共有や会員間の交流の場づくりを行います。

また、企業、団体等さまざまな主体と連携し、家族の絆が深まるようなフェスティバルを開催します。

●子ども・若者事業推進費【基本事業名：23103 子どもの保護対策の推進】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 7 子ども対策費)

当初予算額：(24) 29,966千円 → (25) 28,245千円

事業概要：子どもを有害環境から保護するため、三重県青少年健全育成条例に基づく立入調査を実施するとともに、子どもの利用が多い店舗に「青少年健全育成協力店」として登録いただくよう積極的に働きかけを行います。

また、家庭の果たす役割について理解を深めるため、「家庭の日」についてPRを行います。